

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境清掃部一般管理		20年度予算コード	1	整理番号	507	枝番号			
担当部課名	環境清掃部環境課		コード	300100	昨年度 整理番号	653					
係名	庶務係		連絡先 電話番号	3703							
上位施策名		No	16	環境施策の枠組みづくり							
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 環境清掃部内職員		(1) 杉並区組織条例 (2) 杉並区職員の旅費に関する条例 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	職務上必要な出張時の旅費等の費用弁償 業務上必要な事務用品類の購入及び事務機の保守等 部内各課の連絡調整		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 環境清掃部内事業の円滑な運営							
	活動指標名(式)	(1) 環境清掃部職員数 (2) 旅費支払事務処理件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 環境清掃部関連予算執行率 (2)							
区分		単位	18年度		19年度		20年度		目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績		計画		計画		22年度		
指標	活動指標(1)		人	376	370	370	354				
	活動指標(2)		件	1,030	1,000	1,069	1,000				
	成果指標(1)		%	61.3	100.0	63.9	100.0				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,551	3,862	2,469	3,910		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0				
	(内) 委託費		千円	147	147	147	147				
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.00 0.00	2.00 0.00	2.06 0.00	1.50 0.50				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	18,120	18,280	18,828	13,710			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	1,385			
	総事業費 + +		千円	20,671	22,142	21,297	19,005				
	単位あたりコスト(-)÷		円	54,976	59,843	57,559	53,686				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			
特定財源計 +		千円	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	20,671	22,142	21,297	19,005					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		出張時の旅費等						1,128			
		再生紙等購入						866			
		事務機リース代・消耗品購入等						328			
		事務機の保守委託						147			
その他 ()								0			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 507 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	106.9	19年度予算 執行率%	63.9
		全体としては予算執行率が上昇。しかし節減努力(必要最小限の品目の購入等)を心がけた結果、再生紙等の使用実績は減少した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		18年度より予算計上していない職員事務費については、今年度も未計上。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成12年度に清掃事業が移管され、組織改正により職員数が大幅に増加したため予算額(旅費)が増額した。平成14年度からは、用品会計の廃止に伴い再生紙を部で一括購入することとなったため、予算額(需用費)が増加した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	特になし。					
	今後の予測	全職員にパソコンが設置され情報伝達及び提出書類のペーパーレス化が推進されるが、情報量が増加し電子複写機、プリンタへの機能依存が高まる。今後は、書類のペーパーレス化及び紙類の再使用をさらに進めていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:環境清掃部の業務を円滑に遂行していくために必要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:再生紙の裏紙使用の徹底(用紙使用量の削減のためISOの行動内容を徹底する)。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:部内職員のための経費なので受益者負担には該当しない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:再生紙購入予算等、決算執行率の低い項目については、19年度より実態に合わせた予算編成とした。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 組織全体で見ると、「部一般管理」予算に旅費に係る予算がある。職員給与の支払い等の事務が外部に委託されれば、旅費もその範疇となりうる。その場合は、全庁的に考えれば委託という形で協働が考えられる。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 伝達系の会議はメールの活用等により縮減を図る。電子複写機の使用については情報量が増大し増加が見込まれるが、コストについてはISOの環境マネジメントシステムによる裏紙使用等のルール徹底を行い、削減に向け実施する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民等への情報公開制度に直結する可能性のある文書や意思決定過程の途中にある文書については、用紙の裏面再利用ができない。それ以外の用紙については裏面再利用を徹底する。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 再生紙の購入や事務用品購入に係る予算を精査し、現実にあわせた予算執行を行っていく。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境清掃審議会の運営			20年度予算コード	2	整理番号	508	枝番号		
担当部課名	環境清掃部環境課		コード	300100	昨年度 整理番号	663					
係名	庶務係		連絡先 電話番号	3703							
上位施策名		No	16		環境施策の枠組みづくり						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民一般、事業者等、区内全般				根拠法令等 (1) 環境基本法 (2) 杉並区環境清掃審議会条例 (3) 杉並区環境清掃審議会条例施行規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	環境基本法(平成5年法律第99号)第44条の規定に基づく区長の附属機関として、区の環境保全並びに廃棄物の適正な処理及び再利用の促進に関して必要な事項を調査審議する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区の環境清掃行政に関し、区民等の意向を区政に反映させる。					
	活動指標名(式)	(1) 環境清掃審議会の開催回数 (2) 審議・報告案件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 委員の出席率 (2)					
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度		目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績		計画		計画		22年度		
	活動指標(1)	回	8		8		9		12		
	活動指標(2)	件	40		40		52		40		
成果指標(1)	%	83		100		80		100			
成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,347		3,503		2,423		5,533	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円	0		0		0		0		
	(内) 委託費	千円	0		0		0		0		
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.50		0.50
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,060		9,140		9,140			4,570
		非常勤職員分	千円	0		0		0			1,385
	総事業費 + +	千円	11,407		12,643		11,563		11,488		
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,425,875		1,580,375		1,284,778		957,333		
	財源	受益者負担分	千円	0		0		0			0
		国・都等からの支出金	千円	0		0		0			0
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		
差引: 一般財源 -		千円	11,407		12,643		11,563		11,488		
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0			
19年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)					
	審議会委員報酬			160	人	1,920					
	審議会運営事務費					503					
	その他 ()					0					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 508 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	112.5	活動指標(2)の 19年度達成率%	130.0	19年度予算 執行率%	69.2
		年度当初、審議会に対する諮問については部会設置(6回)を予定していたが、18年度途中から行われた一般廃棄物処理基本計画に関する諮問については全体で審議したため、委員出席率等の関係で残額が出た。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区の環境清掃行政を進める上での重要な課題について、多方面からの意見を区政運営に反映させていくための重要な審議会であるが、審議会運営のより一層の活性化を図るため、審議会委員の改選時には随時委員の構成についての見直しを行っていくとともに、環境基本計画及び一般廃棄物処理基本計画を実効性のあるものとするための検討を行う。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成8年に策定した「環境基本計画」を平成15年に改定した際には、審議会に部会を設置し、環境基本計画のあり方についての答申を出すなど、改定に重要な役割を果たした。今後も環境先進都市を目指す杉並区のさまざまな課題への取組みを推進する役割を担っている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民の環境清掃問題に関する関心はますます高まりを見せており、環境清掃行政に関する区民からの要望・苦情は多いが、審議会に対しての意見はない。					
	今後の予測	環境基本計画の見直し等、今後審議会が関わる案件は非常に多い。その他、外かく環状線の環境影響評価が実施され、環境に及ぼす影響についても関心が高いところで、様々な課題に関しての審議会の果たす役割は今後も区政にとって大きな意味を持つこととなる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区の環境清掃に関する施策を進める上で、重要な課題を審議している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 報告案件の件数等を調整し、重要な審議事項については、十分な時間(開催回数)を設けて議論できるようにする。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の意図は、区全体の環境保全や快適環境の維持を目的としているものであり、特定の個人や団体に受益が偏るものではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 条例設置の附属機関で報酬額が定まっているため、人件費及び、事務費も最低限のものであるので、コスト削減は厳しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 環境清掃行政に係る区長の附属機関として、区内の環境清掃関係団体及び個人の方々に委員を構成する。各種環境団体等からの推薦を受け、委員を委嘱している。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区の環境清掃行政を進める上で重要な課題の諮問を受け、調査審議を行って多方面からの意見を区政運営に反映させていく重要な役割を今後も担っていく。また、審議会運営の活性化を図るため、改選時には可能な限り委員の構成についての見直しを行っていくとともに、今後は環境基本計画の見直しを中心とした計画変更の検討を行う。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	20年度に環境基本計画の見直しに関する諮問に係る経費を計上した。21年度は通常のカ月1に1度開催)に戻るため、その分の経費が削減となる。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境保全の普及啓発			20年度予算コード	6	整理番号	512	枝番号		
担当部課名	環境清掃部環境課		コード	300100	昨年度 整理番号	655					
係名	庶務係		連絡先 電話番号	3703							
上位施策名		No	16		環境施策の枠組みづくり						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		45年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 環境基本条例 (2) 環境基本計画 (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		環境基本計画進捗状況調査及び環境白書の発行。環境保全意識の普及啓発の手段としての環境パネル展の開催、打ち水の実施。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		区民全体に対する環境問題の意識啓発とその高揚。				
	活動指標名(式)		(1) 環境白書作成部数 (2) 各施設での打ち水実施回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 環境白書配布部数 (2) 打ち水参加者数				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/		
	活動指標(1)	部	500	1,000	1,000	500					
	活動指標(2)	回	46	50	5	50					
	成果指標(1)	部	450	900	900	450					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	695	1,286	647	8,528	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0					
	(内) 委託費	千円	0	0	0	7,962					
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	打ち水の実施回数が大幅に減少しているが、これは19年度は全国的に天候が不順で、地方では大雨による被害が出ていたため、自粛した結果である。			
	人件費	千円	9,060	9,140	9,140	9,140					
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	9,755	10,426	9,787	17,668					
	単位あたりコスト(-)÷	円	19,510	10,426	9,787	35,336					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0				
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0				
特定財源計 +		千円	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	9,755	10,426	9,787	17,668					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	環境白書(資料編)の作成及び本編の印刷		1,000	冊	500						
	環境啓発パネル展の開催		3	回	45						
	管理事務費等				102						
	その他 ()				0						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 512 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	10.0	19年度予算 執行率%	50.3
		パネル展については、平成19年6月の環境月間に関する展示(本庁舎)、同10月の環境博覧会、20年2月にあんさんぶる荻窪にてポスト環博を開催した際にパネル展示を開催した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		環境白書の発行に際し、本編・資料編のデザインや印刷方法等の変更を行い、部数を変更せずに発行に関する経費を約半分に抑えた。地球温暖化が大きな問題となる中、「打ち水」の効果を区報で周知し、二次利用水(風呂水、雨水貯留水など)がある家庭や施設での打ち水についてPRを行ったが、天候不順の結果、区施設での実施件数は少なかった。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	環境・公害に対する区民の意識は、身近な環境問題から地球規模の環境問題にまで至っているため、啓発内容を時代の変化に合わせて変えてきた。なお、環境基本計画については、毎年度進捗状況調査結果を公表し施策の推進に活かしている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	一般的には環境分野に対してより幅広い啓発活動が求められているが、当該事業についての要望等は特にない。					
	今後の予測	平成20年7月に北海道洞爺湖周辺で開催される先進国首脳会議における環境に対しての議論などを踏まえ、時代に即した動きが大きくなっていくであろうと予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:環境白書は区の環境に関するデータを多く掲載し、環境に関心のある個人や企業等に広く提供されて環境問題への関心を支援するなど、さまざまな場面で利用されている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:パネル展をより多くの区民に見てもらえるように、公共公益事業者にも声を掛け、充実した内容のパネル展にする。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:環境白書は区内の環境の現状と課題を区民に報告するものであるため、無料配布が望ましいと考える。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:大きなコスト減は望めないが、事業内容の細かな点を再度チェックし、事務の効率化を図る。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 打ち水については、もともとNPOの呼びかけに区が賛同する形で実施している。パネル展については、国や都、区の施策についての周知を行う場合は行政直轄となるが、一部はNPOなどの団体でも可能である。今後は、これらの点について研究していく。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 環境基本計画の見直しに向けて、進捗状況等を活用し、区民にわかりやすい内容での作業を検討していく。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	多くの区民の目に触れることのできるパネル展示や、16年度より開始した庁内外での打ち水、区の事業の報告である環境白書の発行を継続して実施していくことで、区民の環境に関する意識の向上を期待する。また、予算面では、打ち水やパネル展の開催回数の増だけでなく、内容についても検討し、より充実したものになるよう努める。